

峰山高校野球部通信

No. 3 2012. 2. 1 発行 / 京都府立峰山高等学校野球部保護者会



飯高英世監督

保護者の皆様方にはいつも厚い御支援と御声援をいただき、本当にありがとうございます。

さて、新チームが始まって早半年が経ちました。秋季大会では、苦しみながらも二次戦に進出することができましたが、初戦で大敗を喫し悔しい思いをしました。選手たちはこの悔しさをバネに、オフシーズンの筋力・体力トレーニングなど、本当に必死になって取り組んでおります。

また、体作りの面では、体重が夏に比べて5kg以上増え、パワーも徐々に付いてきています。この練習の成果が春季大会また夏の京都大会で出せるよう選手とともに頑張っていきたいと思っています。

保護者の皆様方には、練習試合や遠征など引き続き御負担をおかけすることになりますが、御理解と御協力をお願いいたします。



新しい年を迎え、
更なる飛躍を目標に。

昨シーズンを振り返って～そして2012年の抱負～

2年生



平井 杜夫

内野手

春の大会までは調子が良かったけど、春の大会以降調子を崩してしまった。3年生の最後の試合の後に先輩方に言われた「絶対悔いを残すな」という言葉に感銘を受け、夏休みの練習一日一日を全力で取り組むことができました。その結果それなりの結果が出て、まだまだ満足とは言えませんが練習は裏切らないということを実感しました。今年は一日一日の練習を無駄にせず悔いの残らないようにしていきたいと思っています。そうすれば必ず結果はついてくると思います。



奥田 開仁

外野手

今シーズンは自分の中でも調子の波が大きかったと思います。新チームになってからはバッティングの調子も良かったけれど、秋季大会に向かうにつれてスランプ気味になってしまった。そういう所を自分で調節できなかったことが反省すべき点だった。印象に残ったことは京都外大西戦の初回のチャンスで松岡のスライダーに一球もかすらず三振して悔しかったことです。2012年は、今の峰高野球部で京都大会を制して、甲子園でトップを目指していきたい。個人的にもいろいろな面で成長する。



東 将司

内野手

秋季大会が終わってからの練習試合では、いい結果が残せなかったので、このオフでしっかりと力をつけ、オフが終わってからの試合は走・攻・守、全てにおいて、オフの練習の結果が出せるように頑張りたい。

2012年は2年生最後の年なので悔いが残らないよう一生懸命頑張りたい。



小林 享峻

外野手

自分の成長した部分は全てです(少々)。特にこの冬休み期間はウエイトに力を入れ筋力増大に努めてきました。そして下半身強化もし、足を速くしようとしました。しかし体重が思うように伸びず、そこがこの冬休みの課題でした。なのでこれから体重を増やしたいです。



関谷 英昌

外野手

今シーズンを振り返ってみるといろいろありました。一番印象に残っているのは秋季大会の網野戦です。一進一退の攻防で勝利をものにした時は本当に嬉しかったです。他にも加悦谷戦での逆転劇なども心に残りました。僕は2012年を最高の年にできるように、自分に負けずチームに貢献できるように頑張っていきたいと思っています。



安田 雅史

投手

自分たちには、夏の甲子園しか残されていないので夏に結果を出すためにも春に近畿大会までいって、そして夏につなげられるようにしたい。そして夏は全国制覇する。個人としては投手として守備からリズムの作れるようなピッチングをしたりしたいし、誰にも打たれないようなストレートを投げたい。バッターとしては、夏までにホームランを5本は打ちたい。



高家 誠志

投手

この一年間での反省点は、まず自分がまだまだ未熟だったことだと思います。少しのミスで試合の流れを向こうにやってしまったこともあったからこの一年は、味方のミスで崩れないような選手になりたい。成長できた点はやっぱり夏を経験できた点だと思う。もちろん悔しい思いの方が多かったけれど、それ以上にもう二度と自分のせいで負けたくないって気持ちが大きかった。最後の年、これまでやってきたことを十分に活かして、このチームの仲間たちと最後は笑って終われるように残りの日数を価値あるものにしたいと思っています。



吉岡 優太郎

内野手

自分にとって今シーズンは、とても短かったように感じました。春、夏があつという間に過ぎ、新チームになりました。最初は戸惑いでしたが、だんだんと慣れていきました。そして秋季大会になり、それなりの結果が残せました。みんないろいろな困難があったと思いますが、何とか頑張って乗り越えられた一年だったと思います。2012年は、自分たちにとって高校野球最後の一年になるので、全国制覇を成し遂げ、最高の一年にしたいです。

練習試合結果

- 10月22日(土) 峰山高校 G
 - ① 峰山 4-2 舞鶴高専
 - ② 峰山 12-2 舞鶴高専
- 10月23日(日) 峰山高校 G
 - ① 峰山 4-2 八鹿
 - (4回雨天コールド)
- 11月3日(木) 峰山高校 G
 - ① 峰山 3-4 福知山
 - ② 峰山 1-7 福知山
- 11月12日(土) 峰山球場
 - ① 峰山 0-12 日星
 - ② 峰山 4-1 出石
- 11月13日(日) 東舞高校 G
 - ① 峰山 3-1 東舞鶴
 - ② 峰山 5-0 東舞鶴



雨天中止

- 10月30日(日) 対 日星戦
- 11月5日(土) 対 大江戦
- 10月6日(日) 対 加悦谷・久美浜戦
- 11月19日(土) 対 東洋大姫路西脇工業戦

待望の紅一点
女子マネージャー
昨秋より入部!

中西美穂さん (一年生・峰山中)

私は昨年11月からマネージャーとして、練習に参加してきました。まだ慣れないこともいっぱいありますが、自分なりにできることは努力していきたくです。また、このチームで甲子園に行けるように、部員のみんなのことをしっかり支えていきたいと思っています。どうぞこれからも、いろいろと頑張っていきたいので、よろしくお願ひします。



相見貴明

外野手

自分は腰痛のため野球ができませんでした。でも痛みがなくなり、野球ができるようになりました。久々のバッティング、ノックなどは全然できませんでした。自分は練習試合などたまにしか出場できなかったのですが、今年はたくさんアピールして試合に出させてもらえるようにしたいです。たくさんのいいプレーができるように頑張りたいです。



今田拓実

外野手

自分は入学前、練習中に疲労骨折をしてから一ヶ月半練習に参加できませんでした。でも練習できるようになって、だんだん野球部であるという自覚も大きくなり、3年生の引退後、新チームでやる野球が楽しくなってきました。試合でも公式戦は出られなかったですが、練習試合に出してもらって高校生活初ヒットを打った時はとても嬉しかったです。2012年は初ホームランを打ちたいです。



金谷佳樹

内野手

成長したところは力が付き遠くまでボールを飛ばせるようになったこととスイングスピードなどが上がったこと。反省点は試合で結果が出なかったり、ボンミスをしたりすること。課題はスイングスピードをもっと上げて試合でも結果を出し、練習から集中して取り組むこと。目標は夏までにポジションを取ること。そのため頑張っていく。



志村駿太

外野手

昨年、自分は2回も骨折をして夏休み、冬休みに練習ができませんでした。その分一生懸命練習し、頑張っってバッティングを伸ばしていきたいです。そして昨年はチームに迷惑をかけていたと思うので、今年はチームに貢献したいし、強い気持ちを持ち、強い体を作って何事にも強い選手になり、春夏秋を勝って甲子園に行きたいです。



永岡 涼

内野手

秋季大会が終わって、永いオフに入りました。そのオフでの大きな取り組みが、体重を増やすことです。自分は体重が軽いので、このオフで体重を増やしてしっかりとした体をつくれれば、パフォーマンスも上がると思っています。だからこのオフはしっかりと体重を増やしていきたいです。



細見吉彦

内野手

自分は新チームになってから全く打てず、守備でもファーストまで投げられず、いつもチームに迷惑をかけてしまいました。なので今年はチームに迷惑をかけず頑張りたいと思います。そして入学した時の気持ちを忘れずにやっていきたいです。



山本昇平

投手

秋季大会が終わってから、冬のOFFまでの間、練習試合は良い試合もありましたが、悪い試合もありました。その悪い試合の中で出た課題がたくさんあったと思うので、冬の練習で改善していき、春季大会では夏季大会のシードを取り、夏季大会では上にいけるよう頑張ります。個人的には、秋にケガをしてしまってまだ練習に入らず、もたついています。冬の間にしっかりと治して、春に間に合うよう頑張っていきたいです。



吉井健人

外野手

夏休みは新チームとなり、たくさん練習試合をしてきた。試合を重ねるたび皆さんの良い所を取ってきたり、挫折を味わった。また遠征では、福井、大阪と行き、強豪チームと試合をして勝てはかなり嬉しかった。またごはんや宿もすごく良く、すごく楽しかった。秋の大会ではとてもヒヤヒヤしたが、二次戦へ行けて良かった。またこの大会で“峰山の強さ”を感じた。



吉井 颯

投手

この秋、自分は初めて公式戦で投げました。しかし結果は上手いはずチームに迷惑をかけてとても悔しい思いをしました。なのでこの経験を活かし春には秋とは違う自分をつくり、同じような思いをしなくてもいいようにしたいです。そして夏にはチームに貢献してこのチーム全員で甲子園に出場したいです。今年も一年間この吉井颯をよろしくをお願いします！



昨シーズンを振り返って～そして2012年の抱負～

1年生



梅田一馬

内野手

自分は、夏から試合に出させてもらっても結果が残せず、ただでさえ出れないのに自分から出場機会を減らしてしまった。だから春の試合ではしっかり結果を残して、チームの勝利に貢献していきたいと思う。そして結果を残して、春季、夏季の大会にベンチ入り、試合出場を目標にこの冬のトレーニングをこなし、上達して春を迎えたいと思う。



蛭子朋也

内野手

自分は入学してから今まで試合に出させてもらうことが多かったですが、練習でも試合でもいつも先輩の方々に引っ張ってもらえばかりであまり役に立つことができませんでした。だから今年はチームのために行動して、全国制覇を目指して頑張ります。



田中大貴

捕手

4月に入学した時から、腰の故障でマネージャーとして頑張りました。3年生が引退され、河島さんや蒲田さんも引退されたので、夏休みはずっと一人でマネージャーでした。新チームで初の北陸遠征では、夏の暑さ、慣れない環境での6連戦など、厳しい条件ではありましたが、選手全員で乗り切ったと思います。秋季大会では、加悦や網野に苦戦したけど、成美に負けたことをバネに二次戦まで行けてとても成長したと思います。自分も東舞鶴の試合で初ヒットが打って、良い形でシーズンが終わって良かったと思います。



中島隆雄

投手

自分は今シーズンでいろいろな面で成長できたと思います。最初は入学してて何もかもわからない中、先輩たちの親切な教えでこの峰高の環境に慣れていくことができました。そこからはチーム内で自分ができることを考え、積極的に行動できるようになりました。一番印象に残ったことは、わかスタジアムでの校歌斉唱です。あのような大きな舞台での一勝は自分や峰高にとって良いものだったと思います。これを糧にしてみっと大きな舞台、甲子園を目指して2012年も一生懸命頑張ります。



藤村基樹

外野手

峰山高校野球部に入学して9ヶ月がたちました。人として成長できた9ヶ月だったと思います。まだまだ未熟ですが勉強できることは勉強し、もっともっと成長していきます。新チームで戦った秋季大会では二次戦で負けてしまいましたが、課題の見つかった大会だったと思うので、オフシーズンで改善していき、厳しいトレーニングに耐えて、自信を持って春、夏の大会を迎えたいと思います。今年もよろしくをお願いします！！



前田透要

投手

今シーズンはケガに苦しみあまり納得のいく年にはなりませんでしたが、ピッチャーメニューのダッシュなど頑張れた部分もありました。来シーズンではしっかりと自分のプレーができるよう、一日一日の練習を頑張っって自分に負けないよう頑張っていきたいです。



増田裕樹

外野手

自分は高校に入ってから、中学校の時と違い、学校生活と部活動との両立が難しくかなり大変でした。しかし今では、毎日の生活に慣れることができ、両方を一生懸命取り組むことができている。もう少しで先輩も入ってくるので、しっかりと先輩を目指し、プレーでも昨年と違い良いプレーができるよう頑張りたいです。



編集後記

新しい年を迎え、早ひと月たちました。クリスマス寒波から何度も大雪に見舞われ、グラウンドの雪解けはいつになることやら…

選手たちは昨年12月から永いオフに入り、厳しい筋力トレーニングに励んでいることと思います。昨秋は練習試合の半分近くが雨で流れてしまったため、広報としては写真も少なくネタ不足になり困ってしまい、監督、選手のご協力を仰ぎ、「読める通信」を作ってみました。選手たちの原稿を一字一字打ち込んでみると、まじめで一生懸命なそれぞれの思いが伝わってきました。皆さん練習に勉強に忙しい中ありがとうございました。

OB会、後援会をはじめ部長、副部長、監督、保護者会の皆様方、今年もよろしくをお願いします。

